

平成14年度 近畿地区公立中学校
修学旅行実施状況報告書

近畿地区公立中学校修学旅行委員会
財団法人 全国修学旅行研究協会

平成14年度 回答状況

府県名	対象校	回答校	回答率
大阪府	335	335	100.0%
兵庫県	277	219	79.1%
京都府	99	99	100.0%
奈良県	108	106	98.1%
滋賀県	99	73	73.7%
和歌山県	141	127	90.1%
合計	1,059	959	90.6%

- ・本調査については、毎回90%を越える回答を得ている。
- ・90%以上の回答は、全体傾向をほぼ正確に把握できる数値である。
- ・調査項目によっては、無記入・複数回答があり、合計数が一致しない場合がある。

実施状況

1-1.旅行実施時期(月別)

(注)構成比については、原則として0.44%以下は0%と表示している。

府県 実施月	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
4月	4	1%	47	21%	7	7%	12	11%	40	55%	3	2%	113	12%
5月	195	58%	152	69%	57	58%	73	69%	8	11%	75	59%	560	58%
6月	112	33%	16	7%	5	5%	5	5%	11	15%	7	6%	156	16%
7月	3	1%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	4	0%
8月	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9月	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	1	0%
10月	1	0%	3	1%	4	4%	1	1%	1	1%	39	31%	49	5%
11月	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%
12月	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
1月	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2月	12	4%	0	0%	19	19%	11	10%	8	11%	0	0%	50	5%
3月	0	0%	0	0%	5	5%	3	3%	2	3%	0	0%	10	1%
無記入	8	2%	1	0%	1	1%	0	0%	2	3%	3	2%	15	2%
合計	335	100%	219	100%	99	100%	106	100%	73	100%	127	100%	959	100%

- ・実施月は例年と同じ傾向で変動はない。
- ・無記入は例年(昨年度は2校)より多くなっている。

1-2.旅行実施時期(月別・方面別)

実施月 方面	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	校数	校数	校数	校数	校数	校数	校数	校数	校数	校数	校数	校数	校数
北海道	3	10	1										14
関東・富士	34	281	32	3		1	39	1			6	8	405
信州・北陸	14	64	31								40	1	150
中国・四国	2	8	6				1						17
九州	48	118	49				7				4	1	227
沖縄	12	73	33										118
海外		2		1									3
その他方面	1	3	4				1						9
合計	114	559	156	4	0	1	48	1	0	0	50	10	943

- ・実施校が多いのは、5・6・4・2・10月の順で昨年度と同じであるが、6月では九州(昨年度72校)、中国四国(昨年度14校)が減少傾向にある。

1-3.旅行先

府県 方面	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計		
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	前年数
北海道	1	0%	7	3%		0%	3	3%		0%	3	2%	14	1%	3
関東・富士	74	22%	91	42%	56	57%	41	39%	39	53%	109	86%	410	43%	424
信州・北陸	90	27%	17	8%	32	32%	12	11%	2	3%		0%	153	16%	144
中国・四国	13	4%	1	0%	1	1%		0%	2	3%	2	2%	19	2%	28
九州	84	25%	76	35%	10	10%	24	23%	26	36%	7	6%	227	24%	253
沖縄	64	19%	27	12%		0%	25	24%		0%	2	2%	118	12%	117
海外シンガポール		0%		0%		0%	1	1%		0%	2	2%	3	0%	2
その他方面	6	2%		0%		0%		0%	2	3%	1	1%	9	1%	6
無回答・実施せず	3	1%		0%		0%		0%	2	3%	1	1%	6	1%	0
合計	335	100%	219	100%	99	100%	106	100%	73	100%	127	100%	959	100%	977

- ・例年通り関東地方が多く、全体の約43%を占めている。
- ・実施せずとは「隔年実施のため14年度は実施せず」の意。
- ・北海道と信州・北陸方面が増加傾向にある。中国四国と九州は減少傾向にある。

1-4.修学旅行費用(生徒1人当たり:円)

府県名	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計 / 平均	
最高額	76,000	80,000	103,000	120,260	71,862	98,195	549,317	91,553
最低額	10,787	41,407	39,948	37,000	43,683	43,304	216,129	36,022
平均額	53,168	57,447	59,003	62,851	59,542	59,852	351,863	58,644

- ・大阪府(237円)・滋賀県(918円)を除き、各府県とも600円～1,000円程度前年より高くなっている。
- ・班別学習・体験学習の数や内容により、価格にかなりの差が出る。
- ・山間地等のため学校から主要交通機関まで距離がある学校では、費用はずいぶん高くなる。

1-5.方面別修学旅行費用(生徒1人当たり:円)

	北海道	関東・富士	信州・北陸	中国・四国	九州	沖縄	海外	その他
大阪府	70,860	55,759	43,579	43,483	56,621	60,824	0	34,379
兵庫県	66,584	59,910	48,699	54,000	54,049	61,049	0	0
京都府	0	63,993	51,790	56,563	54,217	0	0	0
奈良県	73,288	63,602	50,324	0	62,307	66,912	75,751	0
滋賀県	0	59,323	43,683	50,064	61,081	0	0	58,640
和歌山県	76,205	58,749	0	58,658	58,389	71,464	91,598	47,000
平均額	47,823	60,223	39,679	43,795	57,777	43,375	27,892	23,337

1-6.宿泊地利用状況(数字は延べ泊数)

地区	コード	宿泊地	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	泊数合計	構成比
関東地区	1	東京都内	27	91	95	45	50	156	464	55%
	2	浦安・舞浜	14	31	5	9	4	8	71	8%
	3	幕張・千葉	41	13	2	10	9	26	101	12%
	4	富士・河口湖	33	28	6	4	1	21	93	11%
	5	横浜	6	9	3	11	2	10	41	5%
	6	山中湖・根場	10	2	2	4	9	3	30	4%
	7	伊豆地区	2				2		4	0%
	8	その他(関東)	14	7	1	5	2	4	33	4%
			計	147	181	114	88	79	228	837
信州・北陸	9	白馬	44	2	16	2	2		66	21%
	10	上高地	4					1	5	2%
	11	白樺湖	21		7	3			31	10%
	12	乗鞍	22		2				24	8%
	13	志賀・戸隠・黒姫	13	24	31	6			74	24%
	14	奥美濃・荘川	9						9	3%
	15	飛騨・高山	6	2					8	3%
	16	飯田	22	4	2		1		29	9%
	17	その他(信州)	39	2	14	13			68	22%
		計	180	34	72	24	3	1	314	100%
九州	18	福岡	6	3	1	1	10	2	23	5%
	19	北九州	9	6		1	7		23	5%
	20	長崎市内	79	75	11	25	24	8	222	49%
	21	佐世保	12	28		5	2	1	48	11%
	22	雲仙・島原	10	7	3	2	1		23	5%
	23	壱岐	23	2		2	4		31	7%
	24	佐賀県	4	11	3	5	1	1	25	5%
	25	阿蘇	9	10		3	2	1	25	5%
	26	宮崎							0	0%
	27	鹿児島		2					2	0%
	28	その他	17	6	2	4	4	1	34	7%
		計	169	150	20	48	55	14	456	100%
四国・中国	29	高知・愛媛(道後)	2	2					4	11%
	30	徳島・香川	4						4	11%
	31	広島(大久野など)	9		1		3	3	16	44%
	32	萩	4		1				5	14%
	33	山口(秋吉台など)							0	0%
	34	岡山(倉敷など)	2						2	6%
	35	大山					1		1	3%
	36	隠岐	4						4	11%
		計	25	2	2	0	4	3	36	100%
沖縄	37	那覇市内	23	12		14		3	52	22%
	38	恩納村	34	19		21		1	75	32%
	39	名護市内	7	1		3			11	5%
	40	本部	25	3		3			31	13%
	41	佐敷島・伊計島	16	2		2			20	8%
	42	その他(沖縄・渡嘉敷など)	21	17		10		1	49	21%
			計	126	54	0	53	0	5	238
北海道	43	札幌周辺	2	14		5		4	25	86%
	44	函館・湯の川				1		1	2	7%
	45	小樽市内				1		1	2	7%
	46	阿寒湖・摩周湖							0	0%
	47	網走							0	0%
			計	2	14	0	7	0	6	29
海外	48	シンガポール						4	4	100%
他	49		2			2		2	6	100%

2 体験学習について

2-1.体験学習実施状況

府県名 実施状況	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
実施している	301	95%	162	74%	78	80%	89	84%	66	93%	64	51%	760	81%
実施していない	17	5%	57	26%	20	20%	17	16%	5	7%	62	49%	178	19%
合計	318	100%	219	100%	98	100%	106	100%	71	100%	126	100%	938	100%

・体験学習をしている学校は年々多くなっている。(昨年度71%)

2-2.学習形態(複数回答)

府県名 単位	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
学年単位	170	20%	108	28%	41	16%	63	25%	40	19%	80	57%	502	24%
学級単位	135	16%	38	10%	28	11%	30	12%	33	16%	2	1%	266	13%
班別単位	409	49%	192	49%	146	57%	125	49%	68	33%	47	34%	987	47%
個人	98	12%	43	11%	35	14%	20	8%	59	29%	5	4%	260	12%
その他	24	3%	9	2%	4	2%	19	7%	7	3%	6	4%	69	3%
合計	836	100%	390	100%	254	100%	257	100%	207	100%	140	100%	2084	100%

・学習形態では、学級単位という1方法だけでなく多くの組み合わせ(内容によっては学級単位・班単位を使い分けたり、場合によっては個人形式も)を取り入れ始めたために、件数が倍増した。(昨年度1,093件)

・学年単位の学習は倍増しているが(昨年度251件)、個人で行う体験が増えており(昨年度の約4倍)、形式的な体験学習よりも各学校が個人の興味・関心を重視して体験学習を実施していることが伺え、今後もこの傾向は増えると考えられる。

2-3.体験学習時間別内訳(複数回答)

府県名 時間	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
60分以内	228	29%	146	40%	76	32%	89	37%	55	27%	77	58%	671	34%
120分以内	288	36%	115	32%	74	31%	76	31%	80	40%	32	24%	665	34%
180分以内	121	15%	47	13%	53	23%	33	14%	37	18%	12	9%	303	15%
240分以内	77	10%	21	6%	12	5%	18	7%	16	8%	4	3%	148	8%
300分以内	29	4%	6	2%	2	1%	2	1%	1	0%	5	4%	45	2%
360分以内	18	2%	9	2%	3	1%	9	4%	4	2%	1	1%	44	2%
420分以内	11	1%	5	1%	1	0%	5	2%	1	0%	1	1%	24	1%
480分以内	16	2%	11	3%	5	2%	5	2%	7	3%	1	1%	45	2%
481分以上	3	0%	4	1%	9	4%	6	2%	0	0%	0	0%	22	1%
合計	791	100%	364	100%	235	100%	243	100%	201	100%	133	100%	1967	100%

2-4.申込方法(複数回答)

	学 校	生 徒	業 者	合 計
大阪府	94	6	147	247
兵庫県	56	9	93	158
京都府	41	9	32	82
奈良県	45	5	40	90
滋賀県	27	4	39	70
和歌山県	31	8	23	62
合計	294	41	374	619

2-5.学習の内容(複数回答)

		大阪	兵庫	京都	奈良	滋賀	和歌山	合計	
A 歴史文化	A1 歴史・文化 遺産体験	33	23	7	11	3	9	86	
		17	5	1	9	1	5	38	
	A2 生活・歴史 文化体験	11	12	3	12	1	7	46	
		49	36	12	27	12	1	137	
B 社会体験	B1 一般社会 職場体験	13	12	8	12	14	27	86	
		7	11	11	11	13	22	75	
			1	2	3	1	1	8	
	B2 福祉 ボランティア		3				1		4
		1	1					1	3
	B3 平和学習	131	57	10	43	20	27	288	
						2	4	6	
	B4 国際社会体験		4		1				5
2		4	12	3	2	8	31		
B5 進路選択体験	1	4	8				2	15	
			2		1			3	
B6 生活・文化 体験	37	10	2	9	1			59	
	7	2		3	1			13	
C 環境保全 共生体験	C1 自然環境体験	37	18	2	8	10	8	83	
		4	1			1		6	
		4	4			4		12	
	C2 生活 社会環境体験			3					3
			2	3			1		6
					1	2			3
C3 地球環境体験									
D 交流体験	D1 交流体験	7	2	2	1			12	
E 自然・ スポーツ体験	E1 陸	17	15	21	10	2		65	
		6		1	1	1		9	
		15		4	5		2	26	
		6		1		3		10	
		3		1		5	1	10	
	E2 海・湖・川	32	7	3	1	6	2	51	
		66	20	3	12	8		109	
		4	2		7			13	
		3						3	
	E3 空	12		2		1		15	
3		1					4		
2				4	1		7		

・複数班が同一内容の体験学習をしている場合は1としてカウントしている。

・各学校の工夫で内容は多岐に亘っている。

2-5.学習の内容の資料

修学旅行における体験学習の分類

財団法人 全国修学旅行研究協会

A 歴史文化体験	A 1 歴史文化遺産体験	歴史遺産...世界文化遺産、建造物、仏像、庭園古墳、遺跡 文化遺産・芸能...宗教、民俗、伝統芸能、祭り
	A 2 生活歴史文化体験	伝統文化...町並み保存、歴史街道、民具、生活用品 創作...民芸品、食品・菓子、陶芸、絵付け、染色
B 社会体験	B 1 一般社会・職場体験	行政・政治...国会議事堂、裁判所・官庁等訪問 産業...公的施設・会社・工場・新聞社・テレビ局等訪問 社会・勤労体験...テーブルマナー、商店街での売り子体験
	B 2 福祉・ボランティア	福祉...福祉施設見学、健康施設見学 ボランティア...ゴミ清掃、老人・障害者介護体験、手話講習会
	B 3 平和学習	戦争体験...広島・長崎原爆体験、沖縄戦跡、東京空襲体験 平和維持...平和NGOとの懇談、核廃絶施設見学、軍事基地
	B 4 国際社会体験	国際交流...外国人学校交歓 国際理解...大使館訪問、外人向け観光バス試乗
	B 5 進路選択体験	学校訪問...大学訪問 企業訪問...志望企業訪問、先輩訪問、勤労体験プラザでの学習
	B 6 生活文化体験	農業...田植え、稲刈り、収穫、りんご花粉付け 林業...植樹、植林、下草刈り 漁業...地引網、養殖
C 環境保全 共生体験	C 1 自然環境体験	自然環境、自然保護、世界自然遺産、スペースキャンプ
	C 2 生活・社会環境体験	エネルギー、ゴミ処理、排水、リサイクル
	C 3 地球環境体験	地球温暖化現象、海洋汚染
D 交流体験	D 1 交流体験	学校交流、姉妹校訪問、都市と田舎の交流、ホームステイ
E 自然・スポーツ 体験	E 1 陸	スキー、登山、トレッキング、マウンテンバイク、 ネイチャーゲーム
	E 2 海・湖・川	カヌー、フィッシング、シュノーケリング、ダイビング
	E 3 空	パラグライダー、熱気球、凧揚げ

3.主要交通機関について

府県名 実施状		大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
		校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
近修委 集約輸送		61	10%	113	36%	22	13%	6	3%	2	1%	58	33%	262	16%
独 自	往列車	82	14%	31	10%	35	20%	42	20%	50	36%	31	18%	271	17%
	航空機	79	13%	40	13%		0%	35	17%		0%	21	12%	175	11%
	船舶	4	1%		0%		0%		0%	4	3%		0%	8	0%
	バス	97	17%	31	10%	42	24%	31	15%	14	10%	4	2%	219	14%
	復列車	70	12%	35	11%	36	21%	46	22%	65	47%	7	4%	259	16%
	航空機	87	15%	45	14%	9	5%	37	17%		0%	45	26%	223	14%
	船舶	9	2%	4	1%		0%	3	1%		0%		0%	16	1%
	バス	97	17%	17	5%	31	18%	12	6%	3	2%	10	6%	170	11%
計		586	100%	316	100%	175	100%	212	100%	138	100%	176	100%	1603	100%

・今回初めて調査項目に入れた。

・近修委(集約輸送)離れが進んでいる。理由は航空機利用の増加や学校の立地条件などが考えられるが、集約輸送外の新幹線利用については、経費節減の観点から検討の余地があるのではないかと。

4.修学旅行のテーマについて(複数回答)

府県名	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計
見聞を広める	122	155	62	65	51	110	565
自然に親しむ	226	65	39	39	27	9	405
文化に親しむ	136	105	43	54	36	55	429
集団生活を体験	261	168	84	78	50	94	735
その他	129	50	24	41	25	14	283
計	874	543	252	277	189	282	2417

・その他に多いのは平和学習で、他にはスキー技術の習得(スキー実習の学校)・国際理解・生き方や進路について考える・環境・人権等がある。

5.班別自主研修について

5-1.実施の有無

府県名 実施状況		大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
		校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
実施した		178	56%	176	81%	65	66%	71	68%	62	87%	82	68%	634	68%
実施せず		141	44%	40	19%	33	34%	33	32%	9	13%	38	32%	294	32%
合計		319	100%	216	100%	98	100%	104	100%	71	100%	120	100%	928	100%

・初めての調査であるが、多くの学校が実施している。

5-2.実施した地域

	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計
北海道	1	5		2		2	10
東京都内	31	62	52	23	35	61	264
千葉県	6						6
神奈川県	13	12	4	4	2	13	48
長野県	12	4		1		1	18
岐阜県	11						11
石川県	1						1
京都市						1	1
大阪市		1(事前)					1
広島県	3				2	1	6
岡山県	3						3
山口県	1		1				2
福岡県		3			2		5
長崎県	65	68	9	18	21	6	187
熊本県		1		1			2
鹿児島県		1					1
沖縄県	33	19		13		1	66
韓国				1			1
シンガポール						1	1
その他							
合計	180	176	66	63	62	87	634

- ・約68%の学校が班別学習を実施している。
- ・要した時間は2～9時間と幅があり、長いものでは1日半がある。
- ・利用交通機関はJR・徒歩が大多数で、沖縄県ではタクシーが多い。少数ではあるが、自転車での行動もある。

今後の修学旅行の考え方

1.旅行先について

1-1.旅行先の変更について

今後の旅行	大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
旅行先を変える	137	43%	132	61%	76	80%	60	60%	42	60%	101	84%	548	59%
旅行先を変えない	184	57%	84	39%	19	20%	40	40%	28	40%	19	16%	374	41%
回答数計	321	100%	216	100%	95	100%	100	100%	70	100%	120	100%	922	100%

- ・旅行先変更については約60%が可能性があるとしており、高率である。(昨年度は36%)
- ・体験学習や班別学習の重視・総合的な学習の時間との関連等新しい修学旅行を模索するという観点から変更を検討していると考えられる。

1-2.検討している旅行先

	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計
北海道	1		1	3			5
関東方面	8	6	2	4	7	2	29
長野県	16		2				18
中部地方		1					1
広島県						1	1
中国地方	1				1		2
四国地方	2						2
九州地方	12	7			2	1	22
沖縄県	66	19	4	20	3		112
検討中	42	49	10			15	116
合計	148	82	19	27	13	19	308

充実した修学旅行をさせたい(総合的な学習の時間と関連させてという学校もある)との思いから、検討していることが伺える。検討の主な理由は下記のとおりである。

- ・沖縄県の場合は、平和学習・マリンスポーツ・伝統工芸体験等を目的としている。
- ・九州地方のほとんどは、長崎県である。(平和学習)
- ・環境学習・ボランティア・自然体験・国際理解等を重視したい。
- ・企業訪問・職場訪問等をして、進路選択に繋がる旅行を考えたい。
- ・地元で体験できないものを体験させたい。
- ・旅行先での交流を重視したい。

2.今後組み入れたい体験学習

	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計
農業	18	5		1			24
スポーツ	34	15	7	14	3		73
生活文化	38	6	13	1	2	9	69
自然	59	17	8	9	13	5	111
伝統文化	20	8		4	2		34
歴史	1	8	1	1		4	15
環境保全	9	9	4	2	5	3	32
国際理解	3	7	8	3	1	5	27
交流	14	6	3		3	7	33
進路選択	12	5	12	3	6	17	55
福祉	6	4	3		1		14
平和	19	24	1	15	6	8	73
合計	233	114	60	53	42	58	560

- ・スポーツ・自然体験には沖縄県の海洋体験が多く含まれている。
- ・交流体験は学校交流と旅行先の人たちとの交流がある。
- ・企業・職場・大学等の訪問は進路に関する学習を意図していることが多い。
- ・旅行先に沖縄県・長崎県を候補としている学校では、平和学習を中心に行っているところが多い。

インターネットの活用について

1. 修学旅行の学習に関するインターネットの活用について

1-1. 活用の状況

活用状況	府県名		大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
活用している	247	74%	164	75%	73	74%	84	79%	62	85%	100	79%	730	76%		
活用していない	82	24%	53	24%	24	24%	18	17%	9	12%	23	18%	209	22%		

1-2. 活用の内容(複数回答)

府県名	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計
計画立案情報収	162	130	58	69	48	85	552
事前学習	200	147	63	67	48	89	614
学校の家庭の連絡	11	23	4	4	3	4	49
HP作成	24	9	3	3	3	7	49
その他	3	3	1	2	0	2	11

「総合的な学習の時間」との関連について

1. 修学旅行の学習と「総合的な学習の時間」との関わりについて

方面	府県名		大阪府		兵庫県		京都府		奈良県		滋賀県		和歌山県		合計	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
関わりがあった	187	57%	113	52%	41	42%	60	57%	38	54%	45	36%	484	51%		
部分的にあった	107	33%	80	37%	35	36%	18	17%	25	35%	44	35%	309	33%		
なかった	35	11%	25	11%	22	22%	27	26%	8	11%	36	29%	153	16%		
合計	329	100%	218	100%	98	100%	105	100%	71	100%	125	100%	946	100%		

・関わりがあったとした学校は、昨年(44%)より増加している。

2. 関わりがあった場合(複数回答)

	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計
事前学習で	149	108	33	31	30	46	397
旅行先で	80	36	19	14	20	29	198
事後学習で	66	63	13	16	13	14	185
上記すべての場面	143	91	44	49	30	41	398
その他	0	0	0	0	2	1	3
合計	438	298	109	110	95	131	1181

3.旅行先での学習形態(複数回答)

	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計
学年全体	138	76	29	46	27	55	371
学級単位	77	21	20	23	18	8	167
同テーマ	150	103	47	46	42	46	434
個々	14	10	6	4	3	5	42
合計	379	210	102	119	90	114	1014

4.行き先決定時に「総合的な学習の時間」の内容を考慮したか

	大阪府	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	合計
考慮した	181	77	50	44	39	40	431
しなかった	92	104	25	34	24	57	336
その他	9	7	4	10	1	5	36
合計	282	188	79	88	64	102	803

その他の項の主な意見は下記のとおりである。

- ・生徒・保護者の希望を参考にした。
- ・「考慮した」部分と経費面を考えた。
- ・市町内の学校で協議して決めた。(連合等)
- ・天候に左右されず、平和学習・体験活動などが多様に組める所。また事前学習等を充実し、旅行も充実しようとすれば総合的な学習と必然的につながる。
- ・「テーマ・安全性・継続性・経費」を考慮している。
- ・今後は「総合的な学習の時間」の中身も考慮しながらの目的地決定になる。
- ・学校教育目標をベースにして決めた。
- ・「総合的な学習の時間」との関連まで考慮せずに決定していた。旅行先で何が出来るのかという決め方であった。
- ・学校という団体でないといけないことを体験するということを考えた。
- ・大規模校であるので、体験等受け入れてくれる施設、また宿舎は一館で混宿なしを考慮した。

意見・感想(いくつかの意見等をまとめて書いています。)

輸送関連

- ・沖縄県への航空機による輸送が希望校の増加により困難になってきている。対策を講じてほしい。
(多数)
- ・集約輸送に頼っているため曜日を選べず見学場所によっては入館できないため準備に支障が出る。学校行事にも影響が出る。
- ・継走団体列車と新幹線を無理なく接続できるよう配慮してほしい。
- ・班別学習をより幅広く実施するために、新幹線乗降駅を1駅と限らず、例えば、東京と新横浜で分かれて乗降できるように働きかけてほしい。

費用関連

- ・最近の一般ツアーの費用を参考にしても修学旅行に要する費用は割高で、社会情勢から考えても限度に来ているのではないか。そんな中でも高額な土産物を買う生徒が多く修学旅行そのものについて考えさせられてしまう。
- ・費用については高額になっていて、よほど根拠のある明確な説明をしない限りこのことだけで学校への信頼に影響が出る恐れがある。
- ・一般旅行には格安の航空チケットがある。それを利用できないか。修学旅行は高額すぎる。
- ・へき地校のため経費と時間がかさみ大変である。

修学旅行の内容

- ・個人選択の体験学習を充実したい。今回初めての試みであったので生徒に満足感を与えられなかった。
- ・長年続けたスキー学習から沖縄に変更した。学校の重点目標である「人権」をキーワードとして取り組んでいる。「総合的な学習」と関連させ、時間をかけて本校の修学旅行を作り上げたい。
- ・修学旅行を体験学習や総合的な学習の時間と関連づけようとするから無理が生じる。修学旅行が本来持っている目的や機能を充実させることが大切ではないか。
- ・海外への修学旅行は国際理解を深める上でも充実しており、生徒にも好評である。
- ・単なる見学に終わらず、地方の生徒が都会の進んだ文化・施設等で体験できることを重視した修学旅行にしたい。
- ・生徒が主体となって計画し、教員・保護者が支援する形式で実施している。「総合的な学習の時間」とも関連させ中身の濃い修学旅行になっている。
- ・体験学習を多くすれば費用がかさみ課題がある。
- ・体験学習の方法について、午前はクラスプログラム午後は個人プログラムにしたのが成功した。
- ・最近の修学旅行は、レジャー的な面が多くあり、学習の名に値しない。日本人の文化水準が下がっているように思う。
- ・2年次に「平和学習」を総合的な学習で取り組み、事後に学んだことを冊子にまとめた。文化祭では劇や展示で思いを表現した。修学旅行を軸に多様な総合的な学習ができた。

- ・体験学習は単なる思い出に終わっては意味がない。他人任せの学習ではなく生徒の自主性を重視した内容が必要。修学旅行がそのまま「総合的な学習」になるのではない。
- ・「総合的な学習の時間」と関連させているが、教師は今までの修学旅行のイメージから脱却できず思うように進まない。
- ・修学旅行は日本の伝統である。あまり多くのことを学ばせるのではなく、見聞を広めよき思い出を作ることができればよいと思う。
- ・慎重に対応しなければならないが、修学旅行については社会情勢の変化・学校教育のあり方・経費の問題等、原点からの点検が必要ではないか。

受け入れ関連

- ・平和学習を充実させるために沖縄修学旅行を続けているが、訪問校が多く、宿舎の確保・班別学習や体験学習が困難な状況にあり、苦慮している。

その他

- ・大規模校では、道中の安全確保にエネルギーが費やされ、理想的な修学旅行を実施するまでには時間が必要である。
- ・修学旅行の時期を休業中に・参加者は希望制に企画運営は生徒に委ねるという方法はとれないか。理由は経費節減、体験学習の充実、自主自律の育成。
- ・集約申し込みをもう少し遅くできないか。ゆっくり検討する時間がほしい。
- ・本アンケートの中に、記入する際判断に悩む箇所がある。改善を望む。